

## 会 議 録

### 1 会議名

令和2年度 第1回高田区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 諮問事項 小林古径記念美術館の管理の在り方について（公開）

(2) 令和元年度地域活動支援事業 実績報告の検証について（公開）

### 3 開催日時

令和2年4月24日（金）

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面で開催

### 4 開催場所

—

### 5 傍聴人の数

—

### 6 非公開の理由

—

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：西山要耕（会長）、高野恒男（副会長）、吉田昌和（副会長）、  
飯塚よし子、浦壁澄子、大滝利彦、小川善司、北川 拓、小竹 潤、  
佐藤三郎、澁市 徹、杉本敏宏、松矢孝一、宮崎 陽、山中洋子、  
山本信義、吉田隆雄

- ・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、田中主任

### 8 発言の内容

- ・小林委員、高橋委員を除く17人の出席（書面での意思表示）があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を確認
- ・会議録の確認：西山会長、高野副会長

—諮問事項 小林古径記念美術館の管理の在り方について—

- ・令和2年4月17日付けで委員あてに書面による意見集約を依頼。
- ・4月21日を期限とし、質問を照会したところ、北川委員より「①特別観覧料は、年4回あるとされる企画展の観覧料のことでよいか」「②周遊観光の点から隣接の3施設セット割引料金があってもよいと思うが如何か」との質問があった。
- ・上記質問について、小林古径記念美術館が以下のとおり回答を作成。4月22日付けで委員あてに質問と回答を送付した。

質問①の回答：特別観覧料は、年に4回程度開催する企画展のうち、経費の関係から観覧料を別途定める必要がある際の料金になる。

質問②の回答：これまで3館共通券（①博物館・美術館、②古径邸、③三重櫓）を規定していたが、共通入館券は下記の課題があった。

- ・共通券の管理や3館間の入館料の取扱いにより事務が煩雑。
- ・現状では博物館と三重櫓は歴史分野としての共通性があるが、美術館との共通性は希薄。
- ・特別展などで入館料が変更となった場合には共通券は販売できない。

以上のことから、隣接する3館での共通券に代わるものとして、「各館の半券提示による相互割引」（各館の団体料金に減免）を導入予定であり、周辺観光や各施設との回遊性を高めていく。

- ・4月24日午後5時を期限とし、本件の適否及び附帯意見について、委員から書面による意思表示を求めたところ、17人から回答があり、適当16人、不適当0人となった。（採決結果から会長は除く）
- ・また、附帯意見については、山本委員より「多くの市民に利用していただく手段として、都市部の美術館で設定しているシルバー料金（高齢者対象）を設定してはどうか」との提案があった。
- ・上記を踏まえ、4月24日に正副会長で確認・協議した結果、本件を「適当」と判断する旨の答申書を発出することに決した。
- ・委員から提案のあったシルバー料金の設定については、担当課の方で別途割引条件を検討していること。また、シルバー料金の設定は、本件の施設に限った話ではなく、市の他の施設にシルバー料金を設定するかどうか、全体的な話につながるこ

とから本件の附帯意見とはせず、提案として担当課へ伝えることに決した。

—令和元年度地域活動支援事業 実績報告の検証について—

- ・令和2年4月17日付けで委員あてに書面による意見集約を依頼。
- ・4月21日を期限とし、質問を照会したところ、質問はなかった。
- ・4月24日午後5時を期限とし、「高田瞽女の文化発信事業」及び「青田川桜保存を河川学習事業」に関する検証内容を提案者へ通知することの要否について、委員から書面による意思表示を求めたところ、17人から回答があり、2事業いずれも必要と判断した委員が5人、不必要と判断した委員が11人となった。（採決結果から会長は除く）
- ・上記を踏まえ、4月24日に正副会長で確認・協議した結果、検証内容（2事業）は提案者に通知しないことに決した。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL: 025-522-8831 (直通)

E-mail: nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。